

◆ 今週のコメント

- インフルエンザの京都市の定点当たり報告数は9.42(650例)で、前週5.86(404例)よりも増加しました。行政区別では北区、上京区、中京区、東山区の4行政区で注意報レベルの「10」を超え、さらに南区では警報レベルとなる「30」を超えています。また全国の定点当たり報告数も前週の8.54から増加し10.58となり、注意報レベルを超えました。今後、患者数はさらに増加することが予想されます。体調管理に注意し、手洗いやうがいの励行、咳エチケットなど予防を徹底しましょう。インフルエンザの発生状況や予防対策については、下記URLを御参照ください。

○インフルエンザの発生状況(衛生環境研究所ホームページ)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000102856.html>

○手洗いの方法(衛生環境研究所ホームページ)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/cmsfiles/contents/0000197/197526/tearai.pdf>

○インフルエンザの発生状況について(保健医療課のホームページ)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000051303.html>

◆ 今週のトピックス:<梅毒>

- 近年、梅毒の報告数は増加傾向にあり、平成24年から平成28年までのわずか5年間で全国の報告数は約5倍に、本市の報告数は約6倍になりました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

(性別、年齢、症状、推定感染地域、推定感染経路の順に掲載。ただし、結核は除く。)

- 二類:結核 3例(肺結核 2例, 潜在性結核感染者 1例)
【1月以降の累積報告数 3例(肺結核 2例, 潜在性結核感染者 1例)】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点42, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	9.42	650
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	4.10	172
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.45	19
	③ 咽頭結膜熱	0.43	18
	③ 流行性耳下腺炎	0.43	18
	⑤ 突発性発しん	0.21	9
眼科	流行性角結膜炎	0.40	4

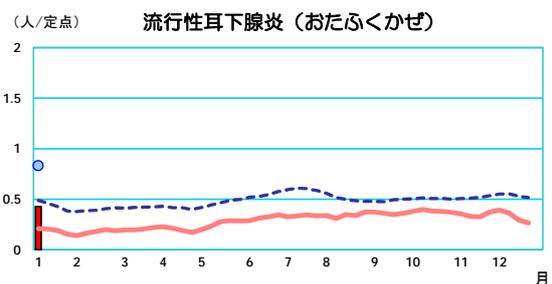
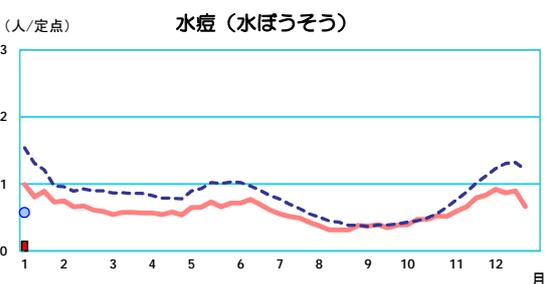
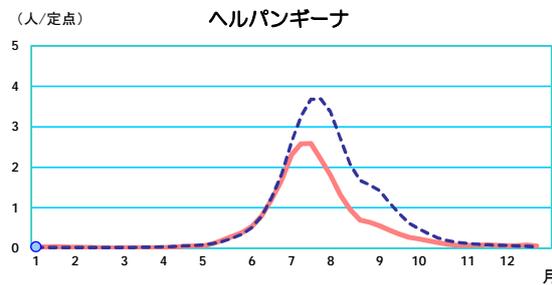
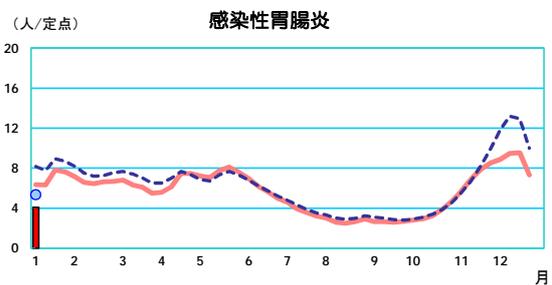
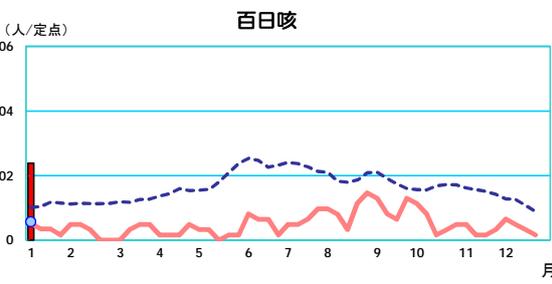
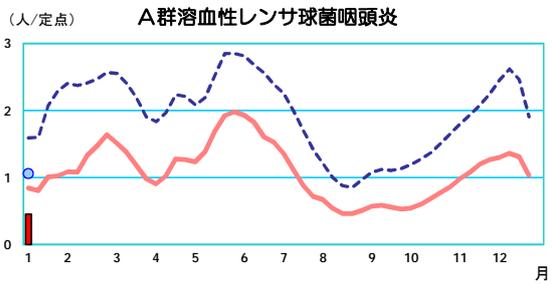
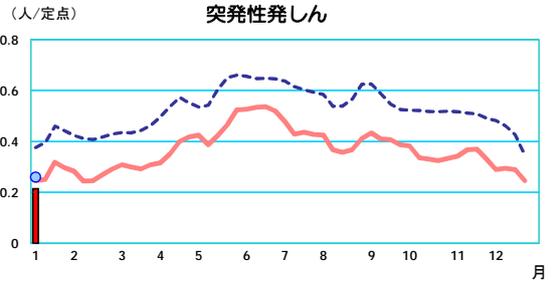
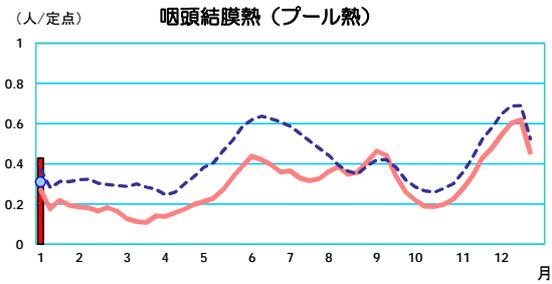
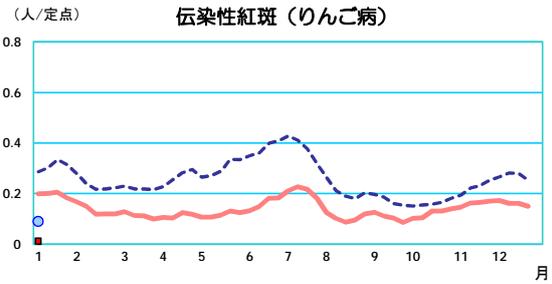
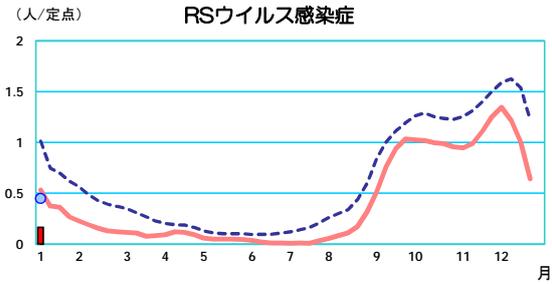
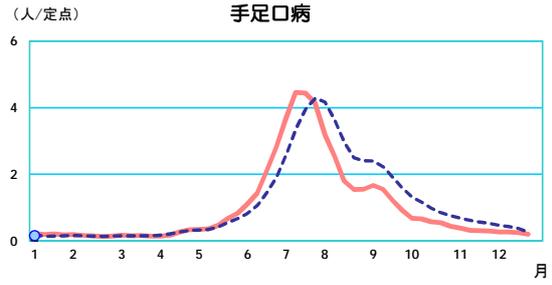
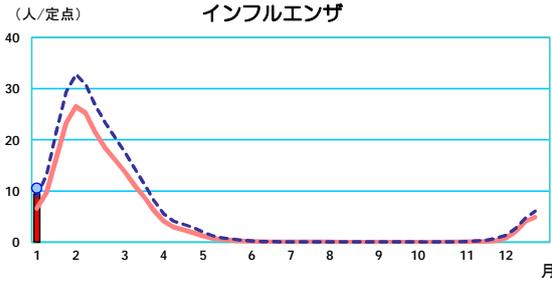
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<梅毒>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成29年1月11日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成29年）



第1週(1月2日～1月8日)トピックス: <梅毒>

近年、梅毒の報告数は増加傾向にあり、平成24年から平成28年までのわずか5年間で全国の報告数は約5倍に、本市の報告数は約6倍になりました(図1)。本市の性別及び診断時年齢別の割合をみると、男性は30歳代及び50歳代、女性は20歳代で急増しています(図2及び図3)。また、感染経路をみると、男女ともに異性間性的接触が急増しています(図4及び図5)。

本疾患は梅毒トレポネーマという病原菌により引き起こされる感染症で、感染すると全身に様々な症状が出ます。主な感染経路は、感染部位と粘膜や皮膚の直接接触です。具体的には、性器と性器の接触、アナルセックス(性器と肛門の接触)、オーラルセックス(性器と口の接触)等です。厚生労働省によると、特に若い世代では、約7割以上のカップルが性行為時にオーラルセックスを行っているとのこと。オーラルセックスで性器から口腔に感染した場合、無症状のことが多いため、感染していることに気付かないまま、別の性行為相手に感染させてしまうことがあります。

早期の薬物治療で完治できますが、検査や治療が遅れたり、治療せずに放置すると脳や心臓に重い合併症を引き起こす危険があります。特に妊娠している人が感染すると、胎盤を通じて胎児に感染し、死産、早産、新生児死亡、重い障害につながる場合があります。

感染予防のために、性行為時はコンドーム等を適切に使用しましょう。性器や口腔周囲に異変を感じたら、性行為を控え、速やかに医療機関に相談し、早期発見・早期治療することが重要です。梅毒の検査は医療機関でもできますが、本市では各保健センターにおいて梅毒を含む性感染症検査を行っています(下記URL参照)。梅毒の感染がわかったときは、感染拡大防止のため、パートナー等と一緒に検査を受け、必要に応じて、治療を行いましょう。

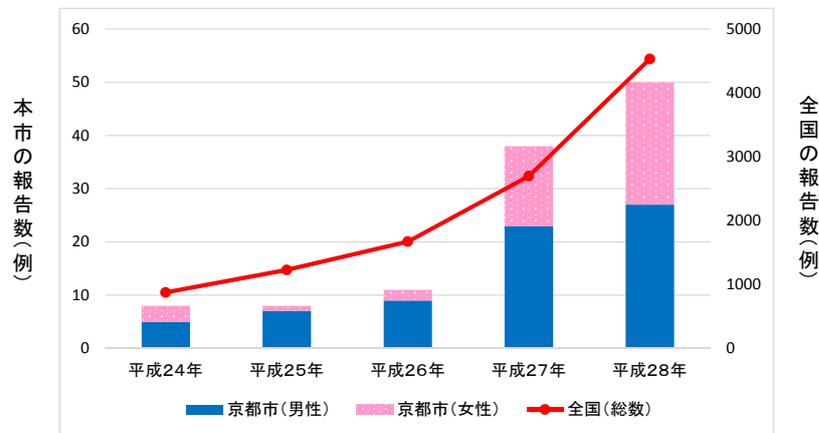
○厚生労働省「オーラルセックス(口腔性交)による性感染症に関するQ&A」

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/qanda.html

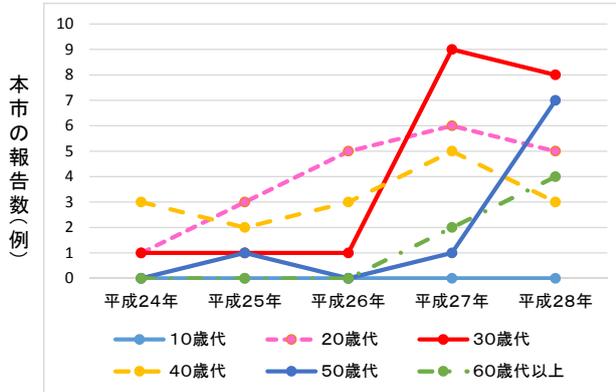
○京都市情報館「平日HIV検査・性感染症検査(予約不要)」

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000028204.html>

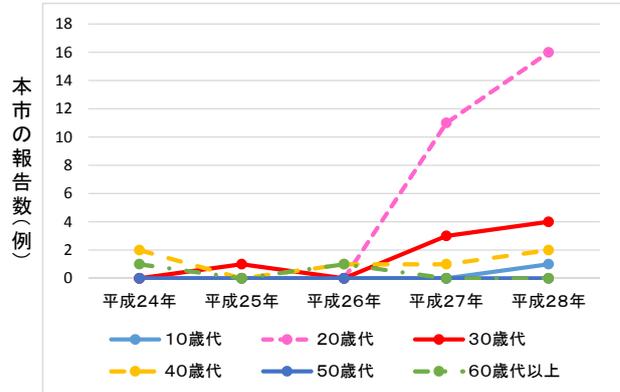
(図1)本市及び全国の報告数(平成24年～平成28年)



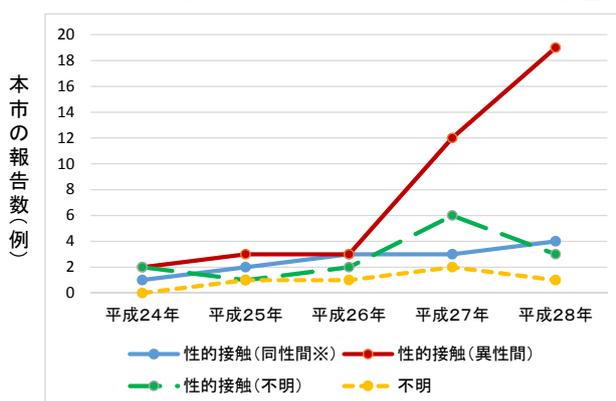
(図2)本市の年齢階級別割合(平成24年～平成28年)(男性)



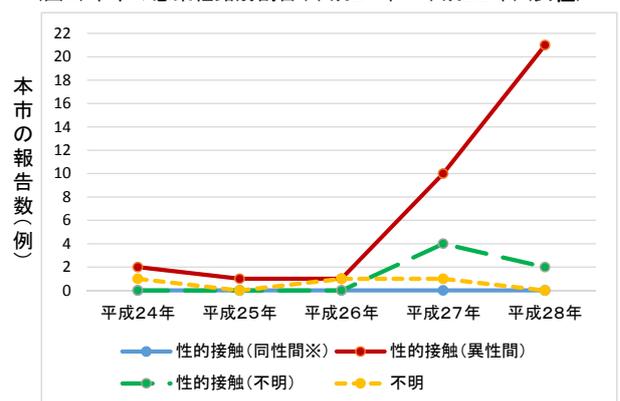
(図3)本市の年齢階級別割合(平成24年～平成28年)(女性)



(図4)本市の感染経路別割合(平成24年～平成28年)(男性)



(図5)本市の感染経路別割合(平成24年～平成28年)(女性)



(※)両性間性的接触を含む。

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第1週

疾病,行政区別報告数

平成29年1月2日～平成29年1月8日

データ入手日:平成29年1月11日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	77	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
上京	52	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1						
左京	46	-	4	3	79	-	4	-	1	-	-	6	-	-						
中京	63	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
東山	31	3	-	1	18	1	-	-	-	1	-	-	-	-						
山科	65	-	2	1	2	3	-	-	1	-	-	3	-	-						
下京	26	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	151	-	-	1	8	1	-	-	1	-	-	2	-	-						
右京	46	2	3	3	11	1	1	-	1	-	-	3	-	3						
伏見	45	2	6	2	26	-	1	1	1	-	-	4	-	-						
西京	48	-	2	6	17	-	-	-	4	-	-	-	-	-						
京都市計	650	7	18	19	172	6	6	1	9	1	-	18	-	4	-	-	1	-	-	

疾病,行政区別定当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	11.00	-	-	0.25	1.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
上京	10.40	-	0.33	-	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00						
左京	6.57	-	1.00	0.75	19.75	-	1.00	-	0.25	-	-	1.50	-	-						
中京	12.60	-	-	0.33	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	
東山	10.33	1.50	-	0.50	9.00	0.50	-	-	-	0.50	-	-	-	-						
山科	9.29	-	0.50	0.25	0.50	0.75	-	-	0.25	-	-	0.75	-	-						
下京	8.67	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	30.20	-	-	0.33	2.67	0.33	-	-	0.33	-	-	0.67	-	-						
右京	5.75	0.40	0.60	0.60	2.20	0.20	0.20	-	0.20	-	-	0.60	-	3.00						
伏見	4.09	0.29	0.86	0.29	3.71	-	0.14	0.14	0.14	-	-	0.57	-	-						
西京	6.00	-	0.40	1.20	3.40	-	-	-	0.80	-	-	-	-	-						
京都市計	9.42	0.17	0.43	0.45	4.10	0.14	0.14	0.02	0.21	0.02	-	0.43	-	0.40	-	-	1.00	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第1週

年齢階級, 疾病別報告数

平成29年1月2日～平成29年1月8日

データ入手日:平成29年1月11日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	650	7	7	16	20	15	9	14	10	10	6	10	44	55	120	67	86	53	34	33	34	
RSウイルス感染症	年齢3	7	3	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		18	-	1	6	6	1	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		19	-	1	-	1	1	2	1	2	4	3	1	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		172	2	11	24	17	10	8	12	9	11	7	10	19	8	24	-	-	-	-	-	-	-
水痘		6	-	-	1	3	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		6	-	-	2	-	1	1	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		9	-	4	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		18	-	-	2	1	1	2	3	3	1	-	1	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		年齢2	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	年齢4	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	9.42	0.10	0.10	0.23	0.29	0.22	0.13	0.20	0.14	0.14	0.09	0.14	0.64	0.80	1.74	0.97	1.25	0.77	0.49	0.48	0.49	
RSウイルス感染症	年齢3	0.17	0.07	0.07	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.43	-	0.02	0.14	0.14	0.02	0.07	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.45	-	0.02	-	0.02	0.02	0.05	0.02	0.05	0.10	0.07	0.02	-	-	0.07	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		4.10	0.05	0.26	0.57	0.40	0.24	0.19	0.29	0.21	0.26	0.17	0.24	0.45	0.19	0.57	-	-	-	-	-	-	-
水痘		0.14	-	-	0.02	0.07	-	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.14	-	-	0.05	-	0.02	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.21	-	0.10	0.10	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.43	-	-	0.05	0.02	0.02	0.05	0.07	0.07	0.02	-	0.02	0.07	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		年齢2	0.40	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	0.20	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	年齢4	1.00	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第1週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成29年1月11日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		101	132	242	386	404	650
RSウイルス感染症		26	40	20	15	6	7
咽頭結膜熱		45	34	49	41	33	18
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		38	36	48	39	32	19
感染性胃腸炎		695	610	729	556	332	172
水痘		13	8	15	2	6	6
手足口病		12	5	12	14	4	6
伝染性紅斑		1	2	-	2	1	1
突発性発しん		16	11	9	12	10	9
百日咳		-	-	-	-	-	1
ヘルパンギーナ		12	2	6	9	9	-
流行性耳下腺炎		45	58	36	32	25	18
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		3	3	-	4	6	4
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	1	-	-	1
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		1,007	941	1,167	1,112	868	912

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		1.46	1.91	3.51	5.59	5.86	9.42
RSウイルス感染症		0.62	0.95	0.48	0.36	0.14	0.17
咽頭結膜熱		1.07	0.81	1.17	0.98	0.79	0.43
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.90	0.86	1.14	0.93	0.76	0.45
感染性胃腸炎		16.55	14.52	17.36	13.24	7.90	4.10
水痘		0.31	0.19	0.36	0.05	0.14	0.14
手足口病		0.29	0.12	0.29	0.33	0.10	0.14
伝染性紅斑		0.02	0.05	-	0.05	0.02	0.02
突発性発しん		0.38	0.26	0.21	0.29	0.24	0.21
百日咳		-	-	-	-	-	0.02
ヘルパンギーナ		0.29	0.05	0.14	0.21	0.21	-
流行性耳下腺炎		1.07	1.38	0.86	0.76	0.60	0.43
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.30	0.30	-	0.40	0.60	0.40
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	1.00	-	-	1.00
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		23.26	21.40	26.51	23.18	17.36	16.94

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。